



# この記事がすごい！ 毎日新聞のこだわり4本

2024年1月28日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

## パーキンソン病の実情を映画に

28日(日)＝1、3面

迫る



映画「いまダンスをするのは誰だ？」について語る古新舜(こにいしゆん)監督(左)と、主演を務めた樋口了一さん

昨年秋に映画「いまダンスをするのは誰だ？」が公開されました。難病のパーキンソン病と正面から向き合う患者の生活や、家族との関係を丁寧に追った作品です。

映画の発起人は若年性パーキンソン病と診断された50代の男性。駅の階段でつまずくという、ちょっとした不調が目立つようになりました。疲れだろうと

思っていたのですが、2012年に病名を告げられたのです。職場での理解はなかなか得られず、孤独に陥り、悩みを抱えました。同時に、病気のことや患者を取り巻く現状を多くの人に知ってもらいたい。なんとか映画にできないだろうか——という願いが膨らんでいったのです。

この男性の願いは、ある映画監督と出会ったこと

で動き出します。でも最初から円滑に進んだわけではありません。映画監督は映画化の提案を1度は断ります。しかし、男性の諦めない姿勢や、病の実情を知ることによって徐々に心が動いていったのです。

そして「いまダンス——」の主演を務めた男性も実は同じ病を抱えていたのです。この映画に関わった人々の心境に迫ります。

### 特集 **ワイド**

裏金、地震、政局… 29日(月)＝夕刊2面

## 政治ジャーナリストと考える

能登半島地震は発生から間もなく1カ月となり、避難生活の長期化が懸念されています。対応に当たる岸田文雄政権は、自民党派閥の政治資金パーティーを巡る裏金事件に揺れています。派閥の見直しが迫られる中、政局はどう動くのでしょうか。

震災や政治をテーマに、ジャーナリストの鈴木哲夫氏＝写真＝と毎日新聞の佐藤千矢子論説委員が対談しました。



## 論点

### ジェンダーと貧困を語る



作家で反貧困活動家の雨宮処凛さんと、法学者の谷口真由美さんの対談です。ふたりは「ロスジェネ」と呼ばれる、バブル経済崩壊後の長期不況下に社会へ出た就職氷河期世代です。40〜50代となったこの世代が直面する貧困や、非

正規雇用の問題、特に女性が置かれた状況について語ります。「昭和のおっさんの価値観」「女は結婚して旦那に養ってもらおう前提になっていた」と、社会や制度について痛烈に批判します。

31日(水)＝オピニオン面

## パリ五輪マラソン選考 28日(日)＝総合面



パリ・オリンピックが半年後に迫りました。人気種目の一つ、マラソンの日本代表選考が今回のテーマです。前回の東京五輪から選考レースとなった「マラソングランドチャンピオンシップ」(MGC)はどのような経緯で導入され、どういう仕組みとなっているのでしょうか。

選考方法の改革は、選手強化にも結びついているのでしょうか。「そもそも」の話からやさしく解説します。

パリ五輪切符を目指して力走する選手たち＝東京都中央区で2023年10月15日、和田大典撮影

## 竹橋の窓から

編集後記

1月26日(金)に第96回選抜高校野球大会の出場校が決定しました。毎日新聞社では、出場校決定を記念して、1月27日から2月5日までセンバツ高校野球2024号外プレゼントキャンペーンを実施します。出場32校について、各校に抽選で各プレゼントをプレゼントいたしますので、みなさんの「推し」の高校を選んでぜひ応募ください！(中村馨)

